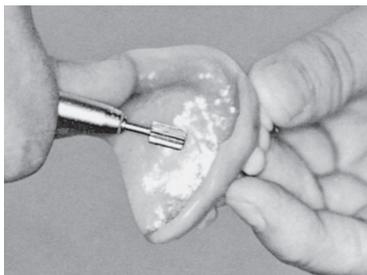


使用法

1. 前準備

前もって患者の口腔及び装着中の義歯を診査し、義歯の粘膜面、アンダーカット部、前歯部唇側内面、口蓋皺襞部などに異常圧迫部があればその部分をスタンプバーなどで十分に削除し清掃乾燥しておきます。

本材の床裏層を必要としない義歯床部、人工歯、口腔内のレジン歯及びレジン補綴物には、ワセリン、ココアバターなどの分離材を塗布します。



2. 粉末と液の採取

粉末計量器には3等分を示す赤印がついています。

計量器1目盛(約2.2g)の粉末に対して液用スポイト4目盛(約1.8g)の液を採取しますと、ほぼ標準の稠度になります。通常1床分として1目盛の粉末、4目盛の液が適量です。

この際、液が少なければゲル化時間が早くなると共に固い餅状物が得られ、液が多いときは餅状物が柔らかくなると共にゲル化時間が延長されますので、適宜に所要の稠度に調節してください。



3. 混合攪拌

セメントヘラなどで30秒～1分間攪拌しますと、クリーム状のペーストは室温の高低に応じて1分から2分の間に水あめ状になります。



4. 義歯粘膜面への盛り上げ

水あめ状になった本材を前準備の終わった義歯の粘膜面になるべく平均の厚さになるように盛り上げます。

これらの操作中、器具・手指などを水で濡らしておけば不要の部分への本材の付着を防止することができます。



5. 口腔内への挿入

義歯粘膜面にライニングしたペーストが流動性を保っている間に義歯を口腔内に挿入圧接し、患者に咬頭嵌合位で静かに咬合させ、そのまま口唇、頬などを動かして筋圧形成を行い、数分後に口腔外に取り出し、過不足を点検します。



6. 修正と補充

床辺縁の本材の除去には彫刻刀、メスなどを使用します。このとき義歯床を冷水に浸して冷却した後行えば操作が容易です。

不足部分の修正又は補充は、常温重合レジンの筆積の要領で行うか、新たに練和した少量のペーストを追加します。

